

エクスカバーター

大阪教育大学教授

「堀 薫夫」

エクスカバーターとは、掘削機、俗にいうパワー／油圧ショベルやショベルカーをさす。なぜこれが人権問題（解決）と関係あるのか、想像できませんか？

雨宮清という人がいる。もともとは大型クレーン車の整備の仕事をしていた人である。仕事でカンボジアに訪れていた彼は、手足を失った高齢者らに出遭う。地雷によるものだ。（対人）地雷は悪魔の兵器と呼ばれるように、無差別に人を（殺すのではなく）「傷つける」ために用いられる。負傷した人には、他者からの治療やケアが必要となるため、結果として「殺す」場合よりもよりダメージを与えることになる。くわえて地雷は半永久的に残存する。

雨宮はカンボジアにて地雷除去のために、耕運機からヒントを得て、自身でエクスカバーターを改良して対人地

雷除去機を製作する。しかし地雷の爆発力の前に失敗。その後、爆発の衝撃をかわすためにバケットの刃の角度を変えるなどをして開発に成功し、自らそれを運転・操作をする。そして多くの地雷除去を続けていく。人権侵害の象徴ともいえる地雷の除去へ。

地雷は購入や設置が安価でできるのに対し、除去には設置の一〇〇倍もの費用がかかるといわれている。また先進国が生産し、発展途上国に犠牲者を生むという南北問題を内包している。こうした地雷の除去に重機会社勤務の日本人が開発した機械が使われている。

二〇〇一年にはやはり日本の坂本龍一呼びかけにてNML（ノウ・モア・ランドマイン）なるグループが結成され、地雷撤去に向けたキャンペーン・ソング活動が展開された。しかし雨宮は、より効果的な地雷撤去の装置を開発し実用化した。ノーベル平和賞に値するようにも思える。